

ホンモノを見極める眼力について

【冷えについて考える】

ケガをしたので、薬で止血し傷口を早めにふさぐ……これは対処療法です。うちみ、捻挫なども含め、外からの刺激で生じたものは、これで痛みを和らげたり早期回復が期待できます。

では、「冷え」はどうでしょうか？ その原因が、外からの刺激ではなく、ご自身の内側から生じたものであるならば、対処療法的アプローチでは、冷えを和らげることはできても根本解決はできません。

冷えの原因の多くは、血行不良、低体温といった体の内部に問題があります。

巷あふれる様々な冷え取りグッズ、こうした視点で作られているものは少ないのが現実です。

【依存の怖さ】

エアコンの普及は、暑さ寒さがしのげ大変快適な環境づくりに貢献しました。一方で、ここ 50 年で女性の平均体温は約 1℃も下がっています。利便性との引き換えに、本来、人が持つ体温調整力が下がってきていると医者は指摘しています。

女性にとって、美容、健康、老化の一番の大敵は冷えであり、血行不良です。

こうした冷えに対処するため、着圧や鉱石配合など、様々な冷え取りグッズが出ていますが、エアコンと同様、外的な対処的アプローチの商品を使って、一時的にその部分の冷えは取れても、逆にその商品を使わないときの自分の体は、前にもまして「冷え症」がひどくなったと言う声をごまんと聞きます。

先日「ヒルドイド」と言う、アトピーなど乾燥肌の治療に使われる医薬品を無理矢理処方してもらおうと、3万円の美容液より効果があると歌ったネット書き込みに乗ってしまった利用者が、その後の悲しい変化に苦情が絶えないといった問題が話題になりました。

確かに、使った直後は、驚くほどの潤いに感動されたようですが、使えば使うほど、普段の自分の素肌がどんどん荒れて、普通肌の人まで乾燥肌になってしまったという現象です。

まるで、ガンになりたくないからと、健康な人が抗がん剤を使うようなものですね。

また、筋肉量の多いアスリートには、着圧も血流を上げる部分的効果は出ますが、普段から運動不足で筋肉の少ない女性が着圧に手をだすと益々冷え性が悪化するのも自

然の摂理です。外側からの刺激による対処療法的なものは、常に依存を呼び、本来の自分の力を失うということを是非意識してくださいね。

【私たちの考えるホンモノとは】

私たちダイレクトステージは、使えば使うほど、その部分の改善が進むとともに、カラダが本来持つ血行機能や体温維持機能が進化してこそホンモノと考えています。

塗っても、締めても、それを使っているときの見栄えは整っても、それを落とした時、脱いだ時の自分がどんどん衰えていっては、ホンモノとは言えません。「何かに依存すれば何かを失う」がこの世の基本原理。

氣ごこちシリーズは、こうした視点で、冷えを取り、着れば着るほど血行を整え、女性が持つ本来の美的バランス機能を蘇らせ、それを引き立てる商品として開発しました。老化の大きな原因である重力の影響を最大限排除し、血の巡りをよくするため、デザインは何枚もの布を使って筋肉の形通りに縫い上げています。

利用者の皆様からも、「平熱が上がった」「冷えを感じにくくなった気がする」という嬉しい声も多く届いています。

ネットでも美容・健康に効果があると歌う商品が溢れかえっているこの時代、皆さんも

是非、ホンモノを見極める視点を忘れないでくださいね。「その部分の効果」だけに

目が行くと、大切なものを失うということだけは忘れないでください。

■ 「氣ごこちシリーズ」でクリック